



富山市立奥田北小学校

# ひ ま わ り 向 日 葵

令和7年度  
学校だより

3月号



学校 HP  
QR コード

## 「できた！分かった！」を増やす

校長 高地 修

毎日、少しでも授業参観をすると、子供たちの「できた！分かった！」の瞬間に出会うことがあります。私の楽しみの一つです。では、3学期の事例をいくつか紹介します。

あおぞら級に入ったとき、「計算が速くなったんです。」と計算トレーニングの記録表を見せてもらいました。36マス計算を続けていて、所要時間が半分ぐらいに短縮されていて驚き、褒めました。子供たちは、自信に満ちた笑顔を見せてくれました。ちなみに、計算トレーニングに取り組んでいる学級は、複数あります。



【工作に取り組む子供たち】

1年生図画工作科「箱を使って」の授業の中へ入っていくと、「校長先生、これは何でしょう？」と作品を手にしながらクイズを出されました。「うさぎかな」と答えると、「当たり前」と嬉しそうに返答。その後、自慢の作品を持った子供が次々と寄ってきて、クイズを出されました。間違えずに答えるのに少し緊張しましたが、私が当てると大喜び。私も笑顔になりました。子供たちは、上手にできたことを私に見せに来たのだと思いました。

4年生算数科「小数のかけ算の筆算」では、目の前にミニ定規を使って丁寧に書いてる子供がいました。もしかしてと思い、巡視していくと、みんながミニ定規を使って丁寧に書き、正確に筆算をしていました。思わず教室全体を褒めました。



【丁寧にノートを書く子供】

5年生体育科「跳び箱運動」では、私も授業中にアドバイスをしたのですが、何人もの子供たちが技のこつや練習方法が分かり、開脚跳びができた、高い段も跳べるようになった、台上前転ができたという場面を目の当たりにすることができました。



【鉄棒運動を楽しむ子供たち】

実は、休み時間にもすてきな時間があります。ちょうど鉄棒のそばを通りかかったとき、3年生の子供たちから、「校長先生、鉄棒の技を見てください」と声をかけられました。得意技を見せてもらったので、すばらしさを褒めました。その後、新しい技に挑戦したいから教えてほしいと頼まれ要望に応えると、子供たちは徐々にこつが分かってきて、できるようになったのです。歓喜に湧きました。その日をきっかけに、何人もの3年生の子供たちから声をかけられるようになり、休み時間には鉄棒コーナーにいたことが増えました。嬉しいことに、毎回、子供たちの上達する姿がみられます。

私たち教職員には、このような「できた！分かった！」に出合える機会がたくさんあり、子供たちと喜びを分かち合えることを幸せに感じます。一人でも多くの子供たちが、一つでも多く「できた！分かった！」と言えるように、これからも全教職員で指導・支援を続け、成果を賞賛していきたいと思います。

私は、修了式で、「できた！分かった！」を増やそうと頑張った子供たちに、手を挙げてもらおうと思えます。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対して、温かいご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。来年度もよろしくお願ひいたします。